

職員による自己評価

A 環境面

・高学年のお子さんが多いと、少し狭く感じる事もあるが、2部屋あるため、自由時間中は遊ぶ内容により活動する部屋を分けることが出来ている。

B 児童への支援内容

- ・月にプログラム内容の考案を行っている。
- ・来所時の利用児童の調子により臨機応変な支援を心掛けている
- ・専門家の運動研修に参加している。

C 関係機関との連携

・学校へのお迎えの時などに、担任の先生方と学校・事業所での様子について情報を共有する機会がある。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・契約時に、重要事項説明書、身体拘束について等の書類を使い説明を行っている。
- ・送迎時や連絡ノートにてその日の活動の様子をお伝えしている。

E 非常対応

- ・避難訓練を行っている
- ・マニュアル（フローチャート）を保護者に配布できているものと、できないものがある。

保護者による評価

A 環境面

- ・活動スペースは確保されている
- ・運動する部屋と創作をする部屋がわかれているため、気持ちの切り替えがスムーズにできる

B 児童への支援内容

- ・個別支援計画書は、面談時のヒアリングを下に作成されている
- ・家庭では出来ないプログラムを実施している

C 事業所からの情報発信

- ・コロナが落ち着いたら、保護者を巻き込んだイベント（参観日的な）などがあると嬉しい
- ・日々の活動の様子は、その日のノートに記載やHPにて掲載されている
- ・契約時に重要事項説明書の説明を受けている。

D 非常対応

- ・コロナ対応については、対応を随時更新しているため安心して子どもを通わせることができる

事業所内での分析

【共通部分】

- ・活動部屋のスペースは確保されている
- ・保護者同士が関わる機会がほぼない
- ・契約時に重要説明事項の説明、面談でのヒアリングをもとに個別支援計画書が作成されている
- ・家庭⇄事業所以外との関わりがあまりない

【相違点】

大きな相違点なし

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・活動室が2部屋ある
(切り替えがスムーズにできる)
- ・子どもたちの特性にあったプログラムを実施している
- ・面談等で助言支援等を行うことができている
- ・専門家による研修受講、療育内容の監修
- ・担当者の研修への参加
- ・新型コロナウイルスに関する対応方法等を随時発信することができる

事業所の改善点

- ・保護者やきょうだい児を巻き込んだプログラムの検討
- ・より細かな活動内容の報告
- ・各種マニュアルの整備

事業所の改善への取り組み

- ・保護者やきょうだい児を巻き込んだプログラムなどの検討
→新型コロナウイルスが落ち着き、安心してお集まり頂けるようになった際には、参観日や、きょうだい児も参加出来るようなイベントも検討していきたいと思えます。
- ・まだ保護者様に配布出来ていないマニュアル等があるため、最新のものになっているか内容を確認した上で、配布と周知を行います
- ・ホームページのブログや月間だより等で、より細かな活動内容の報告をすることが出来るよう検討いたします。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

前年度実施した際よりも、多くのご家庭に回答をしていただき、とても参考になりました。

その中で、“保護者同士の繋がり”や“きょうだい児”に対するご意見も増えていたため、お子様たちの成長を実際に見て感じて頂けるような機会も、状況が落ち着いたら考えていきたいと思えます。今回頂いたご意見を活かし、今後も楽しんで、そして安心して通うことができる事業所運営に努めて参ります。

事業所名 のびの木 みつきょう

担当者 横山 悠